

性別や国籍、年齢など様々な人々の受け入れを推進、多様性のある街「川崎市」
参加条件はたった1つ！“仮装して自力で会場に来れる人”
誰もが参加できる「カワサキ ハロウィン2018」

～「見る」「参加する」「運営する」、障害者も多角的に参加する希少イベント～

障害、年齢、人種、LGBTなどの個性を尊重し、すべての人が生き生きと暮らせる環境づくりを推進している川崎市での日本最大級のハロウィンイベント「カワサキ ハロウィン」。
メインイベントが開催される10/27(土) 10/28(日)には、2500人が参加するメインパレードとは別に小学生以下の子どもたちも安心して楽しめるキッズパレードがあったり、外国人の方も快適に楽しむためのインバウンド施策を取り入れられたり、メインパレードではLGBTをテーマの1つに取り入れられたりしているほか、誰もが当たり前前に楽しめる環境づくりに努めています。

見る

カワハロ史上初！車いす利用者パレード観覧席設置

個性豊かな仮装をした2500人が一斉に練り歩くメインパレードには、いまや国内外から10万人の観客が押し寄せます。沿道を埋め尽くすほどの人が集まる中、**車いす利用者の方々**が**ゆっくりとパレードを見られるスペース**がこれまでなかったため、今年新たにメインパレードコース内（新川通り）に車いす利用者のためのパレード観覧席を設置します。

参加する

過去最多50人以上！ダウン症メンバーが活躍する地元ダンスチームも初参加決定！

誰もが参加できるパレードを目指し、3年前より障害がある方々にも積極的に参加して頂いております。

これまで参加頂いた障害がある方々は、**ハロウィンイベントに参加すること自体が初めて**という方々がほとんどでしたが、何を気にすることもなく仮装や写真撮影などを楽しめる環境にご好評頂いております。

今年も0歳から40代まで幅広い世代から**過去最多の50人以上が参加**予定で、**ダウン症などの障害がある方々が活躍するダンスグループ「ダンスラボラトリー」も今年初参加**が決定しました！

ダンスラボラトリー：<http://dancelaboratory-japan.com/>



運営する

障害者や引きこもり、ホームレスの方々の社会復帰の場としても活用！

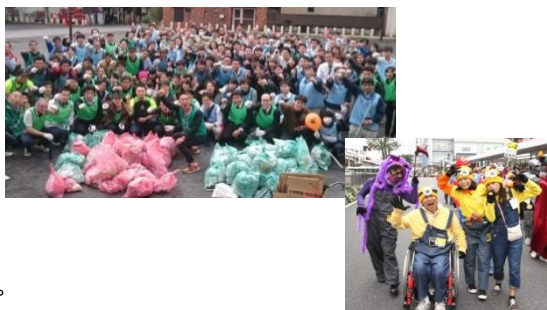
パレードに参加して頂くだけではなく、知的障害や精神障害がある方々にパレード当日スタッフとしても参加して頂きます。

“ピープルデザイン川崎プロジェクト”の一環として、キッズパレード当日の警備のほか、メインパレード当日、本部インフォメーションブースのお手伝い等頂く予定です。

※ピープルデザイン川崎プロジェクト

参考：<http://www.peopledesign.or.jp/project/kawasaki/>

福田市長を本部長に、ダイバーシティのまちづくりを目指す川崎市が2014年より「NPO 法人ピープルデザイン研究所」と連携して障害者支援やLGBT理解などに取り組む施策。



フォロー体制

過度のケアはしない！当たり前を楽しむための体制はばっちり！

障害者の方々が当たり前前に楽しめる場として過度のケアはせず、緊急時に対応できる体制を整えています。

- ・多目的トイレの案内配布（キッズパレード／メインパレード）
- ・本部そばに医師・看護師常駐「暮らしの保健室」設置（メインパレード）
- ・公共交通機関利用者も安心！障害者専用着替えスペース確保（メインパレード）

場所：川崎市役所第3庁舎1階ロビー／料金：無料

◆本件に関するお問い合わせ先◆

川崎市PR事務局（㈱イニシャル）担当：田中・藤田・岩本・古賀

TEL：03-6821-5730 / FAX：03-5572-6065

E-mail：kawasakipr@vectorinc.co.jp